

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	保健Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	保健Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	保健Ⅱ		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識を習得する。		
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を実践できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明できる。		
評価基準	テスト：５０％　小テスト：３０％　授業態度：２０％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	大橋　かほる	実務経験	○
実務内容	仙台市内にて保健師として30年勤務。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	人体の構造および機能の復習 (第1章～2章)	美容師免許を取得する必要性 頭部・顔部・頸部の体表解剖学、骨格器系の演習（国家試験過去問題）と解説
2	人体の構造および機能の復習 (第3章～4章)	筋系、神経系の演習（国家試験過去問題）と解説
3	人体の構造および機能の復習 (第5章～7章)	感覚器、血液、循環器系の演習（国家試験過去問題）と解説
4	人体の構造および機能の復習 (第8章～9章)	呼吸器系、消化器系の演習（国家試験過去問題）と解説
5	皮膚科学（第1章）	皮膚の構造
6	皮膚科学（第2章）	皮膚付属機関の構造　1項　毛
7	皮膚科学（第2章～3章）	皮膚附属器官の構造　2項脂腺　3項汗腺　4項爪 皮膚の循環器系と神経系
8	皮膚科学（第4章）	皮膚と付属器官の生理機能

9	総まとめ	テストを実施する
10	皮膚科学（第5章）	皮膚と皮膚付属器官の保健
11	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 1項 皮膚の異常と病態 2項皮膚炎・湿疹・3項 蕁麻疹・4項 薬疹 5項 口唇の疾患
12	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 6項温熱・寒冷による皮膚障害 7項角化異常による皮膚疾患 8項 色素異常による皮膚疾患 9項 血管腫 10項 脂腺母斑 11項 下肢静脈瘤 12項 分泌異常による皮膚疾患
13	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 13項 化膿菌による皮膚疾患 14項ウイルスによる皮膚疾患 15項 真菌による皮膚疾患 16項 衛生害虫による皮膚疾患 17項 感染症の皮膚予防 18項 毛と爪の疾患 19項 皮膚の腫瘍
14	総まとめ	テストを実施する
15	解説 皮膚科学（第6章）	振り返り・解説
16	皮膚科学の復習（第1～2章）	皮膚の構造と皮膚の付属器官の構造の演習と解説
17	皮膚科学の復習（第2章～4章）	皮膚の付属器官の構造と循環器系と神経系の演習と解説
18	皮膚科学の復習（第5章）	皮膚と付属器官の保健の演習と解説
19	皮膚科学の復習（第6章）	皮膚と付属器官の疾患の演習と解説
20	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
21	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
22	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
23	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
24	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
25	まとめ	まとめを実施する
26	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
27	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
28	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
29	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	文化論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	文化論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	文化論		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界人として必要な理容業・美容業の歴史を学び、創造を広げるエッセンスとなる日本・西洋のファッション文化史の流れを習得する。				
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	馬淵 寿美絵			実務経験	○
実務内容	青森市内の美容サロンにて美容師として18年間勤務。店長・取締役を経験。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代（明治）	明治・大正・昭和の髪型・服装について
2	第3章ファッション文化史日本編 第7.8節 近代（大正）	明治・大正・昭和の髪型・服装について
3	第3章ファッション文化史日本編 第9節 現代Ⅰ（1945～1950年代）	明治・大正・昭和の髪型・服装について
4	第3章ファッション文化史日本編 第9節 現代Ⅰ（1945～1950年代）	明治・大正・昭和の髪型・服装について
5	第3章ファッション文化史日本編 第9節 現代Ⅰ（1945～1950年代）	現代Ⅰ（1945～1950年代）の髪型・服装・化粧について
6	第3章ファッション文化史日本編 第10節 現代Ⅱ（1960～1970年代）	現代Ⅱ（1960～1970年代）の髪型・化粧・服装について
7	第3章ファッション文化史日本編 第10節 現代Ⅱ（1960～1970年代）	現代Ⅲ（1980～1990年代）の髪型・化粧・服装について
8	第3章ファッション文化史日本編 第10～12節 現代Ⅱ（1960～1970年代）	現代Ⅳ（2000年代以降）
9	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
10	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について

11	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
12	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
13	まとめ	まとめを実施する
14	テスト解説 第3章 ファッション文化史日本編 第9節 第10節	テストの振り返り・解説 1980～2000年代の髪型・化粧・服装について
15	総まとめ	総まとめを行う
16	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
17	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
18	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
19	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
20	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
21	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
22	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
23	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	運営管理		
必修選択	必修	(学則表記)	運営管理		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	運営管理		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容経営者として活躍する上で必要とする知識の基礎を理解する。		
到達目標	自身で生活の中から知識や理論を深めることができる。働く者の立場と、経営者の立場のを理解し、キャリアプランに組み込んでいくことができる。		
評価基準	テスト：50％　小テスト：30％　授業態度：20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	伊藤　聖	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション	講師自己紹介/運営管理の授業の概要・価値/授業の受講ルールを理解する
2	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第1節 第2節 第3節	経営とは何か、経営者の責任、経営の目的を理解する。
3	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第4節 第5節	経営戦略とは何かを理解する。
4	第2章 理容業・美容業の経営について第1節 第2節	業界の概要、理容業・美容業を取り巻く社会の変化を理解する。
5	第2章 理容業・美容業の経営について第3節	理容業・美容業における競争を理解する。
6	第2章 理容業・美容業の経営について第4節 第5節	競争の未来図、理容業・美容業の顧客を理解する。
7	第1編 第3章 資金の管理 第1節 第2節	資金管理の重要性と資金の流れを把握/収支と損益を理解する
8	第1編 第3章 資金の管理 第3節 第4節	資産と負債、会計の意味や考え方 コストを管理することを理解する
9	第1編 第3章 資金の管理 第5節	税金①税金の種類と支払うタイミングを理解する
10	第1編 第3章 資金の管理 第5節	税金②税金の申告 青色申告と白色申告を理解する
11	第2編人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源	人という資源・労働者の権利 やる気とは何か、給与の役割、福利厚生を理解する P4 8～P6 1
12	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章 従業員としての視点から 第1節 第2節	社会保険①国民年金を学ぶ

13	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章 従業員のとしての視点から 第2節	社会保険①厚生年金を学ぶ
14	まとめ	前期授業習得度の確認・前期定期試験
15	振り返り	回答&解説
16	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章従業員としての視点から 第3節	社会保険②健康保険を学ぶ P 6 8～P 7 1
17	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章従業員としての視点から 第3節	社会保険②国民健康保険・介護保険を学ぶ P 7 1～P 7 3
18	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章従業員としての視点から 第4節	社会保険③雇用保険を学ぶ
19	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章従業員としての視点から 第4節	社会保険③労働者災害補償保険・マイナンバー制度を学ぶ
20	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章健康・安全な職場環境の実現 第1節 第2節	健康管理の基礎、理容・美容の仕事と健康
21	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章健康・安全な職場環境の実現 第3節 第4節	理容業・美容業に特徴的な健康課題、作業環境に関する健康問題を理解する。
22	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章従業員としての視点から	後期授業習得度の確認
23	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	サービス・デザインの基本を学び、サービス・システム①を学ぶ
24	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	サービス・システム②、新しいサービスをデザインする。
25	第3編 顧客のために 第2章 サービス・マーケティング	理容業・美容業のマーケティング、マーケティングリサーチ、サービスの改善を理解する。
26	第3編 顧客のために 第2章 サービス・マーケティング	コミュニケーションやコスト、情報活用について理解する。
27	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	接客についての理解を深める。接客の実践①ー③を理解する。
28	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	接客におけるトラブル対応を理解する。
29	総まとめ	後期授業内容の習得度の確認
30	解説 総まとめ	後期筆記内容の解説。 運営管理授業全般の総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容技術理論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	美容技術理論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	美容技術理論Ⅱ			出版社	社) 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。				
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	川田 みほ 他3名			実務経験	○
実務内容	仙台市内サロンにて11年勤務。スタイリストとして後輩育成などに務める。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	≪ 8章 エステティック ≫ 1. エステティック概論 2. 皮膚の生理と構造 3. カウンセリング 4. 美容におけるマツサージ理論	・エステティックの歴史、範囲、心得、注意点・皮膚の構造・カウンセリングの目的・実際、エステティックにおけるカウンセリング・基本手技
2	5. フェイシャルケア技術 6. フェイシャル及びデコルテマツサージ 7. フェイシャルパック 8. ボディケア技術 9. ボディマツサージ	・フェイシャルの効果、方法・デコルテ、フェイシャルの手順 マッサージにおける手の動かし方と操作ポイント
3	≪ 9章 ネイル技術 ≫ 1. ネイル技術概論 2. ネイル技術の種類 3. 爪の構造と機能 4. 爪のカット形状 5. ネイル技術と公衆衛生 6. カウンセリング	・ネイルケア、アーティフィシャルネイル、ネイルアート・爪の構造と機能・爪のカット形状・消毒方法の種類、器具の消毒手順、テーブルセッティングの一例・カウンセリング
4	7. ネイルケア 8. アーティフィシャルネイル 9. 手と足のマツサージ	・ネイルケアの道具、マニキュア・ペディキュア技術の手順・アーティフィシャルネイル技術の道具、プレパレーションの手順、ナチュラルネイルオーバーレイ技術の種類、ジェル技術の手順、シルクラップ技術の手順・グルー&ファイラー技術の手順、アーティフィシャルネイルの追加とオフ・ハンドマッサージのポイント・手順、フットマッサージのポイント・手順

5	≪ 10章 メイクアップ ≫ 1. メイクアップ概論 2. 皮膚の生理と構造 3. フェイスプロポーション 4. 色彩について 5. パーソナルカラー	・メイクアップ概論・皮膚の生理と構造、表皮、真皮、皮下組織・フェイスプロポーション、顔の各部の名称・色彩について、色の三属性、色相、明度と彩度、色調・パーソナルカラー、spring, summer, Autumn, winter
6	6. 用具の種類と消毒方法 7. メイクアップ 8. プライダルメイクアップ 9. 肌質別修正メイクアップ	・主な用具の種類、衛生について、手指の消毒、タオル類の消毒、用具の洗いかた、ブラシ類、パウダーパフ、アイシャドーチップ、用具の消毒方法、消毒の手順、血液が付着していない場合、血液が付着している、あるいはその疑いのある場合・メイクアップ スキンケア、クレンジング、化粧水、乳液、スペシャルケア・ベースメイクアップ 化粧下地、毛穴補正料、コントロールカラー、ファンデーション、コンシーラー、フェイスパウダー・ブラッシュオンメイクアップ、チーク、ハイライト、シャドー・アイブロウメイクアップ、眉の毛の流れ、眉の形の基本、代表的な眉の形・アイメイクアップ、アイカラー（アイシャドー）、アイライン、アイラッシュカール、マスカラ・リップメイクアップ、代表的なリップライン・プライダルメイクアップ、男性のメイクアップ、スキンケア、カバーメイクアップ、眉、シャドー、リップケア・肌質別修整メイクアップ・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項、
7	10. まつ毛エクステンション	・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項、
8	総まとめ	テストを実施する 8章～11章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に解く
9	≪ 11章 日本髪 ≫ 1. 日本髪の由来 2. 日本髪の各部の名称 3. 日本髪の種類と特徴 4. 日本髪と調和	・日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和
10	5. 日本髪の装飾品 6. 日本髪の結髪道具 7. 日本髪の結髪技術 8. 日本髪の手入れ 9. かつら	・日本髪の装飾品・日本髪の結髪道具・日本髪の結髪技術 ・日本髪の手入れ・かつら（かぶせ方、飾り方、付け方、簪の位置、外し方、持ち方、しまい方、手入れ）
11	≪ 12章 着付けの理論と技術 ≫ 1. 着付けの目的 2. 礼装 3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ 5. 帯 6. 小物 7. 着物各部の名称 8. 着物のたたみ方	・着付けの目的・女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得・着物と季節・着物のいろいろ ・帯・小物の種類・着物の各部の名称・着物のたたみ方
12	9. 着付けの一般的要領 10. 留袖着付け技術 11. 振袖着付け技術 12. 帯締め、帯揚げの結び方 13. 男子礼装羽織、袴着付け技術	・体型補正、長襦袢の着付け・着物の着付け、帯結び・帯締めの結び方の一例、 帯揚げの結び方の一例、男子礼装羽織、袴着付け技術
13	14. 羽織のひもの結び方 15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項 17. 和装花嫁 19. 洋装花嫁(ウエディングドレスの知識)	・羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・美容師自身の身だしなみ、不測の事態に備える、緊張をほぐすための細かい配慮、花嫁の動作に注意する、機敏な動作・和装花嫁・洋装花嫁
14	まとめ	まとめを実施する 11章～13章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に解く
15	解説	テストの振り返り・解説
16	美容技術理論Ⅰ 序章・1章	美容技術理論を学ぶにあたって・美容道具 重点項目振り返り
17	美容技術理論Ⅰ 2章・3章	シャンプー・ヘアデザイン 重点項目振り返り
18	美容技術理論Ⅰ 4章・5章	ヘアカッティング・パーマメントウェービング 重点項目振り返り
19	美容技術理論Ⅰ 6章・7章	ヘアセッティング・ヘアカラーリング 重点項目振り返り
20	美容技術理論Ⅰ 総まとめ	美容技術理論Ⅰ 総まとめを行う
21	対策	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
22	まとめ	まとめを実施する 美容技術理論Ⅰ・Ⅱ の国家試験出題傾向の高いものを重点的に解く

23	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	まとめ	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	関係法規・制度		
必修選択	必修	(学則表記)	関係法規・制度		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	関係法規・制度			出版社	社) 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。				
到達目標	美容の業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、国家試験に対応できる学力の習得を目的とする。				
評価基準	テストおよび小テスト：８０％ 授業態度：２０％				
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	三浦 敏彦			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
	イントロダクション	美容師免許取得までの流れ、国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明
1	第1章 法制度の概要 第1節 第2節	社会生活における法の役割 日本の法令体系
2	第1章 法制度の概要 第3節 第4節	衛生法規の仕組み 美容師法と附属法令
3	第2章 衛生行政の概要 第1節 ～ 第3節	衛生行政を担う行政機関・保健所の役割
4	第3章 理容師法・美容師法 第1節 第2節	「美容師法」の目的 「美容師法」で用いられる用語の定義
5	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師免許取得までの過程
6	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師免許の申請と欠格条件
7	まとめ	まとめを実施する。
8	解説	振り返り・解説

9	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師に求められる義務
10	第3章 理容師法・美容師法 第3節	免許の変更等があったときの手続き
11	第3章 理容師法・美容師法 第3節	管理美容師
12	第3章 理容師法・美容師法 第4節	美容所の開設に必要な届出・検査
13	第3章 理容師法・美容師法 第4節	開設者が求められる義務および美容所以外での業務
14	まとめ	まとめを実施する。
15	解説・総まとめ	振り返り・解説
16	第3章 理容師法・美容師法 第5節	立入検査と環境衛生監視員
17	第3章 理容師法・美容師法 第6節	違反者に対する行政処分
18	第3章 理容師法・美容師法 第7節	違反者に対する罰則
19	第4章 関連法規	衛生に関連する法律
20	第4章 関連法規	業の振興に関連する法律、雇用に関連する法律、消費者保護に関連する法律
21	まとめ	まとめを実施する。
22	解説	振り返り・解説
23	第1章 第2章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
24	第3章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
25	第4章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
26	まとめ	まとめを実施する。
27	解説	振り返り・解説
28	総復習（1）	国家試験過去問演習等
29	総復習（2）	国家試験過去問演習等
30	総まとめ	総まとめを実施する。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	衛生管理Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	衛生管理Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	衛生管理		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面について理解する。		
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけでなく、業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。		
評価基準	テスト：５０％　小テスト：３０％　授業態度：２０％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	福島　礼子	実務経験	○
実務内容	薬剤師として薬品会社で28年勤務。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第4編 衛生管理技術 1章消毒法総論	消毒とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
2	第4編 衛生管理技術 1章消毒法総論	消毒とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
3	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論	理学的消毒法・化学的消毒法（消毒条件・特徴） すぐれた消毒法と実施上の注意
4	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論	理学的消毒法・化学的消毒法（消毒条件・特徴） すぐれた消毒法と実施上の注意
5	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(1)	消毒薬の概要、消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
6	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(1)	消毒薬の概要、消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
7	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の消毒の実際
8	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の消毒の実際

9	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領①	第1 目的～第4 衛生的取扱い等
10	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領②	第1 目的～第4 衛生的取扱い等
11	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領③	第5 消毒～第6 自主的管理体制
12	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領④	第5 消毒～第6 自主的管理体制
13	まとめ	衛生管理技術、衛生管理の実際 まとめを実施する。
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	公衆衛生	公衆衛生のまとめと問題演習
17	公衆衛生	公衆衛生のまとめと問題演習
18	環境衛生	環境衛生のまとめと問題演習
19	環境衛生	環境衛生のまとめと問題演習
20	感染症	感染症のまとめと問題演習
21	感染症	感染症のまとめと問題演習
22	感染症	感染症のまとめと問題演習
23	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	香粧品化学		
必修選択	必修	(学則表記)	香粧品化学		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	香粧品化学		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容器具や香粧品等に関する化学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。 「美容技術理論」、及び「美容実習」と関連させながら、実地的な知識を習得する。		
到達目標	美容の香粧品化学・美容機器・香粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用ができる。		
評価基準	テスト：５０％　小テスト：３０％　授業態度：２０％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	衛生管理Ⅰ・Ⅱ、美容技術理論Ⅰ・Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	加藤　比紗子	実務経験	○
実務内容	中学、高等学校、理科講師。日本化粧品検定コスメコンシェルジュ。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1編 第1章：香粧品総論 第2章：香粧品を使用する際に気を付けること	香粧品の社会的意義を踏まえ、その有効性と安全性を確保するための国による規制やメーカーの対応などから使用する際の注意その他
2	第3章：香粧品の成り立ち 「水と親水性溶媒」	溶質と溶媒、有機・無機化合物、アルコールの種類と特徴のまとめ
3	第3章：香粧品の成り立ち 「油性原料」「界面活性剤」	油性原料（油脂、ロウ類、炭化水素、高級脂肪酸、高級アルコール、シリコーン油など） 界面活性剤の種類と性質
4	第3章：香粧品の成り立ち 「高分子化合物」「色材」	高分子化合物（天然・半合成・合成） 色材（無機顔料・タール色素など）
5	まとめ総合および中間試験	1～4回までの総復習および中間試験
6	第3章：香粧品の成り立ち「天然色素」「香料」「配合原料」	天然色素、香料、配合原料（防腐剤・紫外線吸収剤・酸化防止剤・収れん剤など）合成樹脂など
7	第2編 第1章：スキンケア製品①	クレンジング用香粧品・コンディショニング用香粧品（クリーム・乳液を含む）とエモリエント剤の復習
8	第2編 第1章：スキンケア製品②	トリートメント用香粧品・サンケア製品・美白用香粧品・ニキビ用香粧品・打粉類・パックス剤

9	第2編 第2章：メイクアップ製品	ベースメイクアップ製品、アイメイクアップ製品、まつ毛ケア製品、ネイルメイクアップ製品
10	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品①	ヘアクレンジング用化粧品、ヘアコンディショニング用化粧品、ヘアスタイリング料・総復習
11	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品②	パーマ剤（パーマの原理、分類など）
12	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品③	ヘアカラー製品・スカルプケア製品
13	まとめ総合および期末試験	6回から12回までの総復習および期末試験
14	試験解説および総復習	期末試験の解説および総復習
15	前期総まとめ	前期総まとめ
16	前期内容確認	前期で学習した内容を総復習しながら、不十分な範囲なども確認
17	化学範囲補充	教科書化学範囲（関連事項）について
18	化粧品化学総合①	化粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
19	化粧品化学総合②	化粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
20	化粧品化学総合③	化粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
21	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
22	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
23	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
24	まとめ総合および期末試験	期末試験（全範囲）
25	試験解説および総復習	期末試験の解説および総復習
26	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
27	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
28	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
29	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
30	国家試験対策	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - A		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	オールウェーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-E				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	及川 ひろみ 他2名			実務経験	○
実務内容	仙台市内美容室にて美容師として17年勤務、店長経験5年あり。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション オールウェーブセッティング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい 1段目～3段目、くりぬき（ウェーブ・リッジ）、計測27分
2	オールウェーブセッティング	1年次おさらい 1段目～3段目、くりぬき（ウェーブ・リッジ）復習、計測27分～25分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール導入（手順、スライス、ピンニング）、美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測25分～20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール導入
5	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール導入
6	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール復習、強化、7段目クロッキノールカール導入
7	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール、7段目クロッキノールカール復習、強化、7段構成全体のバランス オールウェーブセッティングまとめを実施する
8	オールウェーブセッティング まとめ	1段目～3段目、くり抜き、4段目右リフトカール、5段目左リフトカール計測26分 6段目メイボール、7段目クロッキノールカール復習、強化、計測、7段構成全体のバランス、美容師国家試験衛生
9	オールウェーブセッティング	7段構成全体のバランス、各段、各カール再復習、計測4段目～7段目カール12分 7段構成 計測35～30分、美容師国家試験衛生

10	オールウェーブセッティング	7 段構成 計測 3 5 ～ 3 0 分 美容師国家試験衛生
11	オールウェーブセッティング	7 段構成 3 0 ～ 2 5 分 美容師国家試験衛生
12	オールウェーブセッティング	7 段構成 3 0 ～ 2 5 分 美容師国家試験衛生
13	オールウェーブセッティング	7 段構成 2 5 分 美容師国家試験衛生
14	オールウェーブセッティング 総まとめ	7 段構成 2 5 分 総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - B		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	ワインディング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業　試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する		
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する		
評価基準	ワインディング：総まとめ２０％　まとめ１５％　提出物１０％　授業態度５％ 国家試験カット：総まとめ２０％　まとめ１５％　提出物１０％　授業態度５％		
認定条件	・出席が総時間数の５分の４以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）		
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－Ｃ・美容実習Ⅱ－Ｄ・美容実習Ⅱ－Ｅ		
備考	・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「国家試験カット」の２領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員	及川　ひろみ　他２名	実務経験	○
実務内容	仙台市内美容室にて美容師として１７年勤務、店長経験５年あり。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション ワインディング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング込み 全頭巻き22分～20分
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング込み 全頭巻き22分～20分
4	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング込み 全頭巻き20分
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング込み 全頭巻き20分
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング込み 全頭巻き20分
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング込み 全頭巻き20分
8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング込み 全頭巻き20分

9	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生 全島計測20分でまとめを実施する
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
12	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
13	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
14	ワインディング 総まとめを実施する	ワインディング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り
各回の展開【国家試験カット】		
回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション 国家試験カット	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい カット手順再確認
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）18分～16分（チェックカット込み）22分～20分
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）18分～16分（チェックカット込み）22分～20分
4	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）18分～16分（チェックカット込み）22分～20分
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
9	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
11	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
12	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
13	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
14	国家試験カット 総まとめを実施する	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り 課題到達目標の確認

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - C		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディング教材一式 オールウェーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	ワインディング：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% オールウェーブ：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-A・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「オールウェーブセッティング」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	及川 ひろみ 他2名			実務経験	○
実務内容	仙台市内美容室にて美容師として17年勤務、店長経験5年あり。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
4	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生

8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
9	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する
各回の展開【オールウェーブセッティング】		
回数	単元	内容
1	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
2	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
5	オールウェーブセッティング まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
6	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
7	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
8	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
9	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
10	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
11	オールウェーブセッティング 総まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - D		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	オールウェーブ教材一式 カッティング教材一式 衛生教材一式 改正美容師技術試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習ノート			出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第1課題カッティングの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する 美容師国家試験第2課題オールウェーブ技術について基礎を理解し習得する				
到達目標	国家試験第1課題レイヤーカット技術、第2課題オールウェーブ技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す				
評価基準	国家試験カット：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 各校フリー：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「国家試験カット」「各校フリー」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【国家試験カット】

回数	単元	内容
1	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
4	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生

8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
9	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
11	国家試験カット 総まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ－E		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ－E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディングまたはオールウエーブ教材一式・カットイング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する		
到達目標	美容師国家試験 第1 課題・第2 課題・国家試験衛生合格レベルを習得する		
評価基準	総まとめ40％　まとめ30％　授業態度30％		
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）		
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－A・美容実習Ⅱ－B・美容実習Ⅱ－C・美容実習Ⅱ－D		
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。		
担当教員		実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
6	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第1課題・第2課題 まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 まとめを実施する

8	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
14	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
15	国家試験第1課題・第2課題 総まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ－A		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ－A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ドライヤー、ブラシ類、スタイリング剤		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界で活躍するための技術を身に付ける		
到達目標	デザインに必要な要素を取り入れて作品を完成させる		
評価基準	総まとめ30%　まとめ20%　提出物20%　授業態度30%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)		
関連科目	美容技術理論Ⅰ		
備考	・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 ・この科目は「カット・パーマ・カラー」「ベーシックメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員	門脇孝広　他5名	実務経験	○
実務内容	(株)友美にて、アートディレクター、チーフ、店長、マネージャーを歴任。 現在友美グループ(株)ベルス設立、代表取締役		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【各校フリー】

回数	単元	内容
1	パーマメントウェーブ理論	理論を理解した上で、デザイン巻　平巻き・縦巻き
	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
2	パーマメントウェーブ理論	実際にコールド液を使用　巻き方、ロッド、ピンパーマの仕上りの違い等
	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
3	パーマメントウェーブ理論 小テスト	実際にコールド液を使用　巻き方(平巻き・縦巻き)、ロッド、ピンパーマの仕上りの違い等 スパイラル・ツイスト・ストレートパーマ　巻き方小テストを実施する
	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
4	コンテスト技術/ カットting	コンテストデザインに合わせカットting、応用カットting技術
	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)

5	コンテスト技術／ カッティング	コンテストデザインに合わせカッティング、応用カッティング技術
	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
6	コンテスト技術／ カッティング	コンテストデザインに合わせカッティング、応用カッティング技術
	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
7	コンテスト技術／ カラーリング	コンテストデザインに合わせカラーリング、応用カラーリング技術
	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(問題集にて検定対策を行う)
8	コンテスト技術／ カラーリング	コンテストデザインに合わせカラーリング、応用カラーリング技術
	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	コンテスト技術／ カラーリング	コンテストデザインに合わせカラーリング、応用カラーリング技術
	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	総合授業	作品制作
	錯覚	錯覚について導入、実践
11	総合授業	作品制作
	色、質感	色、質感について導入、実践
12	総合授業	作品制作
	色、質感	色、質感について導入、実践
13	総合授業	作品制作
	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	テスト	テストを実施する
	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	総合授業	前期振り返り
	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - B		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト） スマホアプリ(VOGUERUNWAY等)、雑誌 (VOGUE/MODE ET MODE 等)		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【特殊・アーティスト・モデルメイク】ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする		
到達目標	【特殊・アーティスト・モデルメイク】 トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身に付ける 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる 【ベーシックメイク】 メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。		
評価基準	・【特殊・アーティスト・モデルメイク】(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%) ・【ベーシックメイク】(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)		
関連科目	美容実践ⅠーB		
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・(ベーシックメイク)＋(特殊・アーティスト・モデルメイク)		
担当教員		実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【特殊・アーティスト・モデルメイク】

回数	単元	内容
1	オリエンテーションベースメイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認ベースメイク導入、実践
2	ベースメイク② ポイントメイク	ベースメイク復習 ポイントメイク実践
3	年代別のメイク①	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
4	年代別のメイク②	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
5	年代別のメイク③	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
6	年代別のメイク④	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ

7	年代別のメイク⑤	テスト、振り返り
8	トレンドメイク①	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践)テーマに合わせて行う
9	トレンドメイク②	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践)テーマに合わせて行う
10	スチールメイク①	フォトコンで行うメイク制作(実践)テーマに合わせて行う
11	スチールメイク②	フォトコンで行うメイク制作(テスト)テーマに合わせて行う
12	スチールメイク③	テーマに合わせた作品制作作品の振り返り
13	作品制作①	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
14	作品制作②	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
15	総合授業	まとめを行う
各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	ブレ検定	スキんケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - C		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	【ブライダルエステ】 教科書・クリエーヌ化粧品セット・タオル類・消耗品類 【ベーシックメイク】 メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）		出版社	【ブライダルエステ】 日本エステティック協会、日本理容美容教育センター 【ベーシックメイク】 ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【ブライダルエステ】 身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。 【ベーシックメイク】 スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	【ブライダルエステ】 ホスピタリティーの実践、基礎的なフェイシャル・ボディの技術を提供できるようになる。 【ベーシックメイク】 メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。				
評価基準	・ 【ブライダルエステ】 (実技試験40%(フェイシャル20%・ボディ20%)授業態度・提出物10%) ・ 【ベーシックメイク】 (テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)				
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制)、ブライダルメイク検定(任意) 認定フェイシャルエステティシャン、認定ボディエステティシャン				
関連科目	美容実践Ⅰ - C				
備考	・ 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・ (ベーシックメイク) + (ブライダルエステ)				
担当教員	小田中 恵美子 他1名			実務経験	○
実務内容	仙台市内にて、ヘアメイクとして5年勤務。パーソナルメイク講師歴15年。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ブライダルエステ】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ボディエステティックとは	1コマ：教員自己紹介・授業の方向付け、履修目標について解説 1コマ：1. ボディエステティックの目的と効果 2. ボディエステティックの流れ 1コマ：授業準備・ルールについて、ベッドセッティング
2	接客マナー（相モデル）	1コマ：ベッドセッティング 1コマ：笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい 1コマ：基本動作・ベッド誘導
3	前操作（相モデル）	ボディトリートメント/手の使用部位 流れ 前操作デモ・練習
4	ボディマッサージ 下肢後面 1	デモ（塗布から） 手技練習・拭取り練習
5	ボディマッサージ 下肢後面 2	前操作～ 下肢後面通し練習
6	ボディマッサージ 下肢後面 3	前操作～ 下肢後面通し練習
7	ボディ実技試験 成績評価①	ご案内－消毒－下肢後面マッサージ－ふき取り－誘導 ×2クール～4クール人数に応じて ※相モデル

8	フェイシャルエステティックとは 接客マナー（相モデル）	1コマ：1. フェイシャルエステティックの目的と効果 2. フェイシャルエステティックの流れ 1コマ：事前準備・基本動作・ベッド誘導 1コマ：基本手技・HOTタオルの流れシュミレーション
9	フェイシャルマッサージ 1	マッサージ導入・デモ ご案内－デコルテ1～7(美容技術)－HOTタオルふき取り(技術編Iプリント)
10	フェイシャルマッサージ 2	マッサージ導入・デモ ご案内－フェイシャル1～11(美容技術)－HOTタオルふき取り(技術編Iプリント)
11	フェイシャルマッサージ 3	クレンジング導入・デモ ご案内－全体クレンジング(ポイントなし)～マッサージ・ふき取り－整肌
12	フェイシャルマッサージ 4	通し練習 ご案内－フェイシャルクレンジング(技術編Iプリント)－マッサージーふき取り－整肌－誘導
13	フェイシャル実技試験 成績評価②	ご案内－フェイシャルクレンジングーマッサージーふき取り－整肌－誘導
14	マッサージ総合・マスク	1コマ：デモマスク塗布・ふき取り 通し練習 ご案内－消毒－クレンジングーマッサージーマスクーふき取り－整肌－誘導
15	総合授業	総まとめを行う
各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	ブレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - D		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った補強を学び、ＪＮＡジェル検定初級取得から中級までの技術やデザインジェルをマスターし、サロンで接客のできる技術を習得する		
到達目標	基礎技術に加えてＪＮＥＣ２級取得レベルに技術と共に ＪＮＡジェル検定初級に合格し、更に中級検定取得レベルを目指し、 サロンワークに対応できる技術を身に付ける		
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級／ＪＮＡジェルネイル検定初級		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員		実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材チェック 1年次復習	導入・教材チェック1年次復習
	導入・教材チェック 1年次復習	導入・教材チェック1年次復習
2	1年次復習	1年次復習
	1年次復習	1年次復習
3	1年次復習	1年次復習
	1年次復習	1年次復習
4	ジェルグラデーション 実技	ジェルグラデーションを学ぶ
	2級検定説明 チップラップ	チップラップを学ぶ

5	ジェルグラデーション 実技	ジェルグラデーションを練習する
	チップラップ 実技	チップラップ 実技
6	ジェルフレンチ 実技	ジェルフレンチを学ぶ
	2級後半 実技	2級後半 実技
7	ジェルフレンチ 実技	ジェルフレンチを練習する
	2級 通し	2級の実技を通して練習する
8	ジェルスカルプ 実技	ジェルスカルプチュアを学ぶ
	2級 通し	2級 通し
9	ジェルスカルプ 実技	ジェルスカルプチュアを練習する
	実技試験	2級内容
10	ジェル検定中級 第一課題 筆記試験	第一課題を通して練習する。 ジェルの筆記試験
	実技試験	実技試験
11	ジェル検定中級 第二課題	ジェル検定中級 第二課題
	筆記試験 トリートメント 実技	2級内容の筆記試験 トリートメントを学ぶ
12	ジェル検定中級 第二課題	ジェル検定中級 第二課題
	エンボスアート 実技	エンボスアートを学ぶ
13	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
	3Dアート 実技	3Dアートを学ぶ
14	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
	ミックスメディア アート	総合的なアートを作成する
15	総合授業	総まとめを行う
	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ-E		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ-E(ネイル検定対策)		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式			出版社	NPO法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なマニキュア技術を実践でき、JNEC3級検定取得と様々なアート技術を学び、説明し実践できる				
到達目標	ネイルの基礎知識及び技術を理解し実践でき、サロンワークで対応できる爪の補強やアートを習得				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト技能検定3級（任意）・JNAジェルネイル検定初級（任意） 2年4月 2年7～12月				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	プレパレーションデモ リペア（シルクラップ）デモ・実技	ラップ素材を使用して 爪の修正を学ぶ
2	2級検定説明(2級検定DVD) 2級検定実技	2級検定について説明し 受験希望者を確認
3	チップオン・チップラップデモ 相モデル	チップによる付け爪の習得
4	チップオン・チップラップ相モデル	チップによる付け爪の習得
5	チップオン・チップラップ相モデル	チップによる付け爪の習得
6	トリートメントデモ 相モデル・ケア・トリートメント	サロンワークに必要なトリートメント
7	エンボスアート	エンボスアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ

8	エンボスアート	エンボスアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
9	ミックスメディアアート	3 D アートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
10	ミックスメディアアート	3 D アートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
11	チップラップ実技	テスト前に技術の再確認
12	実技試験（2級と同じ内容）	実技試験 J NEC2級検定受験内容に準じる
13	実技試験（2級と同じ内容）	実技試験 J NEC2級検定受験内容に準じる
14	筆記試験 実技練習	筆記試験 J NEC2級検定受験内容に準じる 実技試験の振り返り
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付け		
必修選択	選択	(学則表記)	着付け		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	教本・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・腰ひも（モスリン（4点））・和装スリッパ（下着）・クリップ（2本セット）足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 ・着付け3級（6月強制受験 免許強制） ・着付け2級（12月強制受験 免許任意）				
評価基準	検定試験：40％ テスト：30％ 授業態度：30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、一般財団法人京都きもの伝承文化協会の きもの着付け資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	笠原 恵美子 他3名			実務経験	○
実務内容	着物着付け教室にて着付師として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方2	小紋の着付（裾線、衿合せ）、たたみ方を学び実践する
4	小紋の着せ方3	小紋の着付（お端折の作り方）を学び実践する
5	小紋の着せ方4	半幅帯（蝶結び）の結び方を学び実践する 小テスト（着物の名称）を実施する
6	小紋の着せ方5	小紋の着付を仕上げる（検定対策）

7	小紋の着せ方 6	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
8	小紋の着せ方 7	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	着付け 3 級検定（小紋の着付と蝶結び（20 分））を実施する たたみ方テストを実施する
11	座学 1	着物の名称と用語（プリント①②）について
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する
13	座学 2	着物の TPO（プリント③④）について
14	小紋と名古屋帯	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
15	総合学習	小紋の着付（お太鼓結び）と総まとめを行う
16	振袖の着せ方 1	授業の流れ、到達目標について説明する、考査票の記入 補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
17	振袖の着せ方 2	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
18	振袖の着せ方 3	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
19	振袖の着せ方 4	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
20	振袖の着せ方 5	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
21	振袖の着せ方 6	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
22	振袖の着せ方 7	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
23	振袖の着せ方 8	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
24	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
25	検定試験	きもの着付け 2 級検定試験（振袖にふくら雀 30 分）を実施する
26	留袖の着せ方 1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
27	留袖の着せ方 2	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
28	紋服の着せ方	紋服について、紋服の着せ方について学び実践する たたみ方について
29	女袴の着せ方	女袴の着せ方について学び実践する
30	総合学習	国家試験対策として総まとめのテストを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職するうえで必要な知識や心構えを身に付ける 卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている				
到達目標	就職希望サロンを明確にし、内定取得に向けての知識・心構えが身に付いている。				
評価基準	テスト：50％ 提出物：30％ 授業態度：20％				
認定条件	成績評価が2以上のもの				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	川田 みほ 他2名			実務経験	○
実務内容	美容室にてスタイリストとして勤務経験あり				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職指導の目的 目標設定	・就職指導を行う目的を理解 ・就職決定までの目標設定(内定者は学校生活の目標)
2	SNSについて	・SNSのマナー ・就職活動で有効的な使用方法
3	人を惹きつける自己紹介①	・自己紹介自己PRの違い ・企業やお客様に対して印象に残る自己紹介を考えよう(1分間)
4	人を惹きつける自己紹介②	・前回の内容をグループ内で発表。お互いの特徴を知る
5	商品プレゼン	・商品紹介(プレゼン)のポイントを説明、理解する
6	商品プレゼン	・おすすめ商品をピックアップし、商品紹介(プレゼン)内容を考える
7	商品プレゼン	・商品紹介(プレゼン)
8	商品プレゼン	・商品紹介(プレゼン)
9	一般常識①	・一般常識対策

10	一般常識②	・ ビジネスメール(ペーパーテスト)
11	目標設定①	・ 2年生後期～5年後の目標設定
12	目標設定②	・ プレゼンに向けて内容をまとめる(前回の内容)
13	目標プレゼン	・ プレゼン発表
14	目標プレゼン	・ プレゼン発表
15	総合	・ 前期総まとめ
16	前期の振り返り	・ 前期の振り返り(目標達成度の確認)
17	働く意義	・ 何のために働くか ・ 働く上で大切なこと
18	人間力	・ 社会人として求められていること ・ 社会人と学生との違い
19	人間力	・ 愛される人材とは ・ 感謝の気持ち
20	接客マナー	・ 社会人として備えるべきマナーについて
21	言葉遣い	・ 言葉遣い、敬語の使い方
22	電話応対	・ 電話応対の方法を学ぶ
23	来客応対	・ 来客時の応対方法について学ぶ
24	実践ワーク①	・ お客様とのトーク内容について考える
25	実践ワーク②	・ お客様とのトーク内容について考える
26	クレーム対応①	・ クレーム時の対応について
27	クレーム対応②	・ クレーム時の対応について
28	ケースワーク①	・ 事例を上げ、原因と対応について学ぶ
29	ケースワーク②	・ 事例を上げ、原因と対応について学ぶ
30	総まとめ	・ 2年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークA		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークA		
開講				単位数	時間数
年次	2	学科	美容科	4	120
使用教材	カット用具、メイク用具、コテ、アイロン			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	クリエイティブな創作・撮影実習を通して自分で考えて決める力を養う。				
到達目標	ヘア・メイク・ファッション・写真という観点から見たトータルコーディネートでの表現が出来るようになる。アリミノフォトコンテストへの応募&入賞を目指す。				
評価基準	テスト30%、授業態度40%、撮影作品40%。				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	自己紹介、授業目的説明、授業計画説明、Koaの授業でのルールについて
2	スタイリング（アイテム） ラミネートクリエイション	アイテムを活用したスタイリングと道具作りを行い、ビューティショーやクリエイティブなフォト撮影時の基礎能力を向上。
3	カツラを使用したスタイリング	ヘアショー、フォト撮影に必須であるカツラ作成や作りこみの方法など、基礎能力、感性を向上させる。
4	地毛のデザイン	地毛を活用したスタイリング、パテでのカラー配置、ホワイトブリーチテクニック（コンテスト用ブリーチ）
5	テーマ撮影準備	テーマに合わせた作品を作り上げる能力を向上し、コンテスト入賞に必須なスキルを向上させる。
6	テーマ撮影準備	テーマに合わせた作品を作り上げる能力を向上し、コンテスト入賞に必須なスキルを向上させる。
7	（Koa）撮影コンテスト	（株）Koaにてコンテストを開催。各メーカー、ディーラーなど業界にも協賛していただき審査。アリミノフォトコンテスト予選会
8	撮影会表彰 アリミノ撮影準備	アリミノの傾向と対策をレクチャーし、テーマや審査員にあわせたデザインを作成するポイントを伝えコンテスト入賞狙う。
9	アリミノ撮影準備	アリミノの傾向と対策をレクチャーし、テーマや審査員にあわせたデザインを作成するポイントを伝えコンテスト入賞狙う。
10	アリミノ撮影準備	アリミノの傾向と対策をレクチャーし、テーマや審査員にあわせたデザインを作成するポイントを伝えコンテスト入賞狙う。
11	アリミノ撮影（根岸） ビューティショー準備	業界のトップレベルのフォトグラファターの撮影を経験する。 撮影終了者からビューティショー制作に入る。
12	ビューティショー準備	ヘアショーを行う上での対策 サポート
13	ビューティショー準備	ヘアショーを行う上での対策 サポート

14	大物の撮影・バランスコツ	大物の撮影のポイントについてのレクチャー
15	最終作品・最優秀者表彰	グランプリ作品、準グランプリ作品・各担当賞の表彰 未来に活躍する皆へ役立つクリエイション
16	オリエンテーション	15回を通じたコースの流れ、目的、最終目標、評価基準、マナー、ルールの確認
17	売れるスタイリストになる	インスタを通じた集客の可能性を考慮して作りたいスタイルを考える
18	カット基礎	カットラインとオーバーダイレクションの理解、姿勢、レイヤーと切りっぱなしボブの違い
19	カット実践	17で決めたスタイルのプラントカットレクチャーと実践
20	カット実践	前回切ったスタイルに毛量調整と質感調整をしていく
21	カラー理論の確認と実践	17で決めたスタイルのカラー理論のレクチャーと実践
22	Wカラー理論の確認と実践	17で決めたスタイルのWカラー理論のレクチャーと実践（インナー、すそ、ハイライトなど）
23	パレイヤージュ	去年からのトレンドのパレイヤージュのレクチャー
24	スタイリング、アレンジ	アレンジで使う技術（アイロン・コテ・ピン・ゴム）を学びアレンジしてみる
25	実際に撮影してみる（テスト）	相モデル、またはチームを組んで実際にインスタにあげる想定で撮影してみる（3スタイル）
26	実際に撮影してみる	相モデル、またはチームを組んで実際にインスタにあげる想定で撮影してみる（3スタイル）
27	テスト総評	前回撮った写真を投影しながらプレゼンと反省
28	業界誌を作ろう（テスト）	インスタよりも美容師向けに今年っぽい髪型の提案をする（サロンスタイル）
29	業界誌を作ろう	相モデルかウィッグで作る
30	テスト総評	作り手側と見る側でどのくらい差があるかを確認する。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークB		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	ヘアアレンジ実習：実習に必要な道具一式 まつげエクステ：ABE Eyelash extensionsテキスト、まつ毛技術道具一式			出版社	公益社団法人 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次で学んだ基礎技術を応用し現場を意識して実践できるようにする。				
到達目標	習得した技術をオーダー通りにできるようにする。				
評価基準	テスト40% 提出物(制作物) 40% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者。成績評価が2以上の者。				
関連資格	ヘアアレンジ実習：なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	【ヘア】オリエンテーション 1年次の復習	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、1年次の復習
	【理論】 ・道具の確認、まつ毛エクステンション概要	・教材の内容物の確認・記名・道具の確認、デモ
2	【ヘア】 洋装スタイル	コテ、アイロンなどを使用して様々な質感づくり
	【理論】まつ毛エクステンション概論 用具、道具、備品、用剤、材料	・歴史、用具、道具、用材、材料
3	【ヘア】 洋装スタイル	コテ、アイロンなどを使用して様々な質感づくり
	【実技】 道具の名前 表示について	・用具、道具、用材、材料、セッティング
4	【ヘア】 和装、面スタイル	逆毛、すき毛、面の出し方、つやの出し方
	【実技】まつ毛エクステンション デモスト技術、ウィッグで姿勢確認	・身だしなみ、姿勢 ツイザー持つ
5	【ヘア】和装、面スタイル	逆毛、すき毛、面の出し方、つやの出し方
	【実技】 ツイザーの練習（持ち方、動かし方） 紙上で練習	・身だしなみ、姿勢、道具取り扱い
6	【ヘア】トレンドスタイル	様々な技術を組み合わせたトレンドスタイル
	【理論】 毛、まつ毛の周期・カウンセリング	・まつ毛と髪の毛の違い、長さ、太さ、毛周期
7	【ヘア】トレンドスタイル	様々な技術を組み合わせたトレンドスタイル
	【理論】 ツイザー使用について、装着	・ツイザー使用の注意点、持ち方

8	【ヘア】ヘアアレンジ実習	ビューティーショー作品づくり
	ショー練習	ビューティーショーに向けた練習を行う
9	【ヘア】日本髪	面の出し方、逆毛、すき毛、バランスのとり方
	【実技】 かき分け、持ち方、練習	・ツイザー使用の注意点、持ち方
10	【ヘア】ヘアアレンジ実習	ビューティーショー作品づくり
	ショー練習	ビューティーショーに向けた練習を行う
11	【ヘア】日本髪	面の出し方、逆毛、すき毛、バランスのとり方
	【理論と実技】 テーピング	・リムーバーの使い方
12	【ヘア】グルーブワーク①日本髪	面の出し方、逆毛、すき毛、バランスのとり方
	【理論・実技】 リムービングと復習	・リムービングについて、実技 テスト
13	グルーブワーク①日本髪	面の出し方、逆毛、すき毛、バランスのとり方
	【実技】 まつ毛エクステンション技術 装着	・装着技術
14	【ヘア】グルーブワーク②洋装	ブライダル、パーティースタイルテーマに合わせたアレンジ
	【実技】まつ毛エクステンション技術 テーピング、リムービング	・ツイザーワーク
15	【ヘア】グルーブワーク②洋装	ブライダル、パーティースタイルテーマに合わせたアレンジ
	【理論】 接触皮膚炎、グルーについて	・アレルギーについて、グルーとは
16	【ヘア】 グルーブワーク③トレンドスタイル	テーマに合わせたスタイル、トレンドを意識したスタイル
	【理論】 衛生管理	・衛生管理、道具、人、環境
17	【ヘア】 グルーブワーク③トレンドスタイル	テーマに合わせたスタイル、トレンドを意識したスタイル
	【理論】 カウンセリング（施術中、アフターケア）	・ヘアワークでの実践
18	【ヘア】 シャンプーブロー、アレンジ	相モデル シャンプーブロー、アレンジ仕上げ
	【実技】 技術 復習	・検定対策（装着、リムービング）
19	【ヘア】 シャンプーブロー、アレンジ	相モデル シャンプーブロー、アレンジ仕上げ
	【実技】 技術復習	・検定対策（装着、テーピング）
20	【ヘア】カラー	カラー剤の知識、ホイルワーク、ウィービング
	【実技】 テーピング・リムービング、使い方	・テーピングについて、実技

21	【ヘア】 カラー	カラー剤の知識、ホイルワーク、ウィーピング
	【理論】 まつ毛エクステンションデザインについて	・デザインを考える
22	【ヘア】 相モデル①	テーマを決めて、ヘアメイク、衣装、撮影
	【理論】 保健（目）	・眼の病気、対応について テスト
23	【ヘア】 相モデル①	テーマを決めて、ヘアメイク、衣装、撮影
	【理論】 保健（皮膚）	・皮膚の知識とまつエクの関係 テスト
24	【ヘア】 相モデル②	テーマを決めて、ヘアメイク、衣装、撮影
	マツエク卒業作品作成 （成績加味）	・卒業制作(オリジナル作品作り)
25	【ヘア】 相モデル②	テーマを決めて、ヘアメイク、衣装、撮影
	マツエク卒業作品作成 （成績加味）	・卒業制作(オリジナル作品作り)
26	【ヘア】 卒業制作①	テーマ、イメージ決めデザイン画考案、作成
	【実技】 技術 復習	・検定対策 検定について テスト
27	【ヘア】 卒業制作①	テーマ、イメージ決めデザイン画考案、作成
	【理論】 筆記検定対策 タイムトライ(検定対策)	・検定対策 座学
28	【ヘア】 卒業制作②	幅広い技術を応用し、ウィッグを使用した作品作り（カット、カラー、アレンジ含む）
	【理論】 筆記検定対策 タイムトライ(検定対策)	・検定対策 実技
29	【ヘア】 卒業制作②	幅広い技術を応用し、ウィッグを使用した作品作り（カット、カラー、アレンジ含む）
	まつ毛エクステ検定	検定対策 実技
30	【ヘア】 卒業制作③	幅広い技術を応用し、ウィッグを使用した作品作り（カット、カラー、アレンジ含む）
	まつ毛エクステ検定	検定対策 実技

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークC		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークC		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	ネイル：JNAテクニカルシステム ジェルネイル		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイル：J N A ジェル検定初級までの技術やデザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る		
到達目標	ネイル：J N A ジェル検定初級に合格し、更に中級検定取得レベルを目指し、サロンワークに対応できる技術を身に付ける		
評価基準	ネイル：ジェルネイル検定初級内容の模擬結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％ メイク：実技テスト50％ 提出物25％ 授業態度等25％		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	ネイル：JNECネイリスト検定3級／J N A ジェルネイル検定初級		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	大槻 早紀	実務経験	○
実務内容	仙台市内にてネイリストとして6年勤務。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材の名称及び説明 爪の構造・ファイリング	教材確認及び名称・用途説明・テキストで爪の構造の確認、ファイリング
2	ネイルケアについて	ネイルケアデモンストレーション・自爪で実施
3		
4	ジェルの仕組み・カラー実技(チップ)	ジェルネイルの工程、仕組みを知り、実技を行う
5	クリア・カラー実技(自分の爪)	
6	クリア・カラー実技(相モデル)	
7	クリア・カラー実技(相モデル)	
8	ジェルアート・講義・デモ	ピーコック・フラワーなどのジェルを使ったアートを学ぶ
9	Bショー	テーマに沿ったデザインアートを作成する
10	初級検定説明・デモ 初級検定DVD※	初級検定内容を学び・技術をマスターする
11	Bショー	テーマに沿ったデザインアートを作成する
12	初級検定実技	初級検定内容を学び・技術をマスターする
13	模試 初級検定実技・筆記	初級検定内容を学び・技術をマスターする
14	実技 模試	初級検定内容を学び・技術をマスターする

15	初級検定実技	初級検定内容を学び・技術をマスターする
16	オリエンテーション 基礎知識	授業目的、評価基準、ブライダルヘアメイクの仕事、式スタイル
17	ブライダルメイクの基本	洋装メイク、デザイン画作成
18	お色直しの基礎知識	お色直し概論
19	挙式〜お色直し	挙式〜お色直し実践
20	ブライダルヘア	洋装ヘア概論
21	ブライダルヘア	洋装ヘア実践 挙式〜お色直し
22	和装メイク	現代風和装メイク
23	和装メイク	伝統的和装メイク
24	和装ヘア	和装ヘア概論
25	年代別ゲストメイク	年代。衣装に合わせたゲストメイク
26	成人式メイク	七五三の歴史、由来、小物
27	卒業制作①	卒業制作（導入、実践）
28	卒業制作②	卒業制作実践
29	卒業制作③	卒業制作実践・テスト
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークD		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークD		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	教科書・クリエヌ化粧品セット・タオル類・消耗品類 JNA テクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル			出版社	新エステティック・技術論Ⅰ・理論Ⅲ・美容実技理論Ⅱ 日本エステティック協会・日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルエステの基礎を学び知識と共に技術向上を目指し、特性を理解して説明して施術ができる ジェルの基礎を学び知識と共に技術向上を目指し、特性を理解して説明して施術ができる				
到達目標	ホスピタリティーの実践、基礎的なフェイシャル・ボディの技術を提供できるようになる ネイルの基礎的な知識・技術を理解し、ジェル検初級取得を目指す				
評価基準	実技試験80%（フェイシャル40%、ボディ40%）授業態度・提出物20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン NECネイリスト検定3級・2級・1級				
関連科目	美容技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション ボディエステティックの目的と効果・ボディエステティックの流れ
2	接客マナー	挨拶・身だしなみ・言葉遣い・基本動作・ベッド誘導
3	前操作	ボディトリートメント・手の使用部位
4	ボディマッサージ 下肢後面1	手技練習・拭取り練習
5	ボディマッサージ 下肢後面2	前操作～下肢後面通し練習
6	ボディマッサージ 下肢後面3	前操作～下肢後面通し練習
7	ボディ実技試験	試験を実施する
8	フェイシャルエステティックとは 接客マナー	フェイシャルエステティックの目的と効果・フェイシャルエステティックの流れ
9	フェイシャルマッサージ1	マッサージ導入
10	フェイシャルマッサージ2	マッサージ導入練習
11	フェイシャルマッサージ3	クレンジング導入・マッサージ・拭取り 練習
12	フェイシャルマッサージ4	クレンジングから拭取りまで 練習

13	フェイシャル実技試験	試験を実施する
14	マッサージ総合・マスク	実技総合 フェイシャル・ボディマッサージ・マスク
15	総合授業	予備日
16	導入・教材の名称及び説明 ジェル講義・オフの仕方・デモ	教材について ライトで硬化するジェルシステムを学ぶ
17	クリア・カラー実技 (自分の爪)	
18	クリア・カラー実技 (相モデル)	
19	クリア・カラー実技 (相モデル)	
20	ジェルアート・講義・デモ	ピーコック・フラワーなどのジェルアートの基礎を学ぶ
21	ジェルアート	
22	初期検定説明・デモ 初級検定DVD	初級検定内容を学び、技術をマスターする
23	初級検定実技	
24	初級検定実技	
25	筆記テスト 初級検定実技	
26	実技テスト	
27	中級検定について フレンチグラデー ション デモ 中級DVD	中級検定について内容を理解する
28	フレンチグラデーション実技	実技試験（フレンチグラデーション）
29	ジェルスカ（クリア）デモ実技	実技試験（ジェルスカ）
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークE		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークE		
E				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	【フォト】カメラ 【エステ】エステ教材一式			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【フォト】カメラの仕組みを知り、作品撮りを通じて、写真の意味を知る 【エステ】身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚える				
到達目標	【フォト】何の為に、誰の為に、どうなる為に撮るのかを学び、作品作りに活かすことができる 【エステ】ホスピタリティーの実践、基礎的なフェイシャル・ボディの技術を提供できるようになる。				
評価基準	【フォト】テスト20％ 授業態度30％ 作品作り50％ 【エステ】実技試験40％ フェイシャル20％・ボディ20％・授業態度・提出物20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	基礎知識	カメラの仕組み・写真の仕組み これからの授業の流れについて カメラの使い方・撮り方 実際に、室内や外での撮影
2	基礎知識	カメラの仕組み・写真の仕組み これからの授業の流れについて カメラの使い方・撮り方 実際に、室内や外での撮影
3	実践①	グループを作ったの、ヘアメイクの写真撮り
4	実践①	グループを作ったの、ヘアメイクの写真撮り
5	実践①	グループを作ったの、ヘアメイクの写真撮り
6	実践①	グループを作ったの、ヘアメイクの写真撮り
7	実践②	グループを作ったの、ヘアメイクの写真撮り 服装や、背景も含めた写真の撮影
8	ビューティーション作品づくり	ビューティーション作品撮り
9	実践②	グループを作ったの、ヘアメイクの写真撮り 服装や、背景も含めた写真の撮影
10	ビューティーション作品づくり	ビューティーション作品撮り

11	筆記試験対策	筆記試験対策
12	筆記試験	筆記試験
13	作品撮り	それぞれの、作品の制作
14	作品撮り	それぞれの、作品の制作
15	作品撮り	それぞれの、作品の制作
16	オリエンテーション ボディエステティックとは	1. ボディエステティックの目的と効果 2. ボディエステティックの流れ 授業準備・ルールについて（各校） ベッドセッティング
17	接客マナー（相モデル）	ベッドセッティング、笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい 基本動作・ベッド誘導/前操作
18	前操作（相モデル）	ボディトリートメント/手の使用部位 流れ 前操作デモ・練習
19	ボディマッサージ 下肢後面 1	デモ（塗布から） 手技練習・拭取り練習
20	ボディマッサージ 下肢後面 2	前操作～ 下肢後面通し練習
21	ボディマッサージ 下肢後面 3	前操作～ 下肢後面通し練習
22	ボディ実技試験	ご案内－消毒－下肢後面マッサージ－ふき取り－誘導 ※相モデル
23	フェイシャルエステティックとは 接客マナー（相モデル）	1. フェイシャルエステティックの目的と効果 2. フェイシャルエステティックの流れ 事前準備・基本動作・ベッド誘導・基本手技・HOTタオルの流れシュミレーション
24	フェイシャルマッサージ 1	マッサージ導入・デモ ご案内－デコルテ－HOTタオルふき取り
25	フェイシャルマッサージ 2	マッサージ導入・デモ ご案内－フェイシャル－HOTタオルふき取り
26	フェイシャルマッサージ 3	クレンジング導入・デモ ご案内－全体クレンジング(ポイントなし)～マッサージ・ふき取り－整肌
27	フェイシャルマッサージ 4	通し練習 ご案内－フェイシャルクレンジング－マッサージ－ふき取り－整肌－誘導
28	フェイシャル実技試験	ご案内－フェイシャルクレンジング－マッサージ－ふき取り－整肌－誘導
29	マッサージ総合・マスク	1コマ：デモマスク塗布・ふき取り 通し練習 ご案内－消毒－クレンジング－マッサージ－マスク－ふき取り－整肌－誘導
30	総合授業	総まとめを行う